

考 試 科 目	日本文學	所 別	日文系	考 試 時 間	3 月 16 日 星期日	第 三 / 四 節
---------	------	-----	-----	---------	-----------------	-----------

一、以下のテーマで、600 字～800 字以内で日本語文で小論文を書きなさい。(15%)

テーマ：「日本文学研究の現在——テキスト分析とは何か」

二、次のテキストの粗筋と引用文を参照した上で、日本語文でそれぞれの問いに 200～300 字以内で答えなさい。

1. 【課題：宮本百合子『一本の花』における異類女の自然な恋愛】(15%)

(1) 『一本の花』(1927 年 12 月) 粗筋

『一本の花』は、宮本百合子とロシア文学者湯浅芳子との共同生活に取材した作品であるといわれている。宮本百合子は荒木茂との離婚直前の一九二五年(大正一四)年一月始めから湯浅芳子との共同生活を始め、宮本顕治との再婚の直前の一九三二(昭和七)年二月上旬までの約七年間の歳月をともに暮らした。

二十七歳の朝子は、ある婦人団体の機関誌の編集の仕事をする女性である。三年まえ夫を亡くし、現在は、女性大で心理学を教えている女友達の幸子と一緒に暮らしている。幸子を愛する心と、異性に向かおうとする官能との分裂によるセクシュアル・アイデンティティの危機は、直接的には大平のさりげないプロポーズの言葉を契機にもたらされたものではあるが、より根源的には、朝子の性を中心にした感性のひそやかな変容によるものであった。

(2) 本文引用

〈朝子が、夫を失ったのは二十四のときであった。彼女は近頃になって、元知らなかった多くの彼女の中に、半開であった女性の花が咲いたことを、男女の生活について理解するようになった。〉

若し今まで結婚生活が続いていたら、自分はこのように細かに、何か木の芽でも育つのを見守るように心や官能の生長を自分に味うことが出来たであろうか。朝子はよくそう思い、世間並に考えれば、また当時にあつては、朝子にとっても大きな不幸であった不幸を、ただ不運とばかりは考えなかった。女一人の生長。——自然はその女が夫を持っていようといまいと、そんなことに頓着はしていない。時が来れば、花を咲かせる。

——自然は淨きかな——(略)

銀座で見舞物を買ったりしているうちに、朝子は、変な不安から段々自由な心持になった。

幸子のいないのもよい。自分の前後左右を通りすぎる夥しい群衆を眺めながら、朝子は思った。自分も苦しいなら苦しいまんま、この群衆の一人となって生きればよいのだ。どんなに苦しくても、間違っても、人間の裡にあればこそだ。(略)

全く、個人的に自己消耗だけ華々しく或は苦々しくやって満足している部と、それが一人から一人へ伝わり、或る程度まで一般となった現代の消耗が身に徹えて徹えてやり切れず、何か確乎とした、何か新しいものを見出さなくてはやり切れながっている人たちもきっとある。朝子は自分の苦痛として、それを感じてい

備	考 試 題 隨 卷 繳 交	
命 題 委 員 :	( 簽 章 )	97 年 3 月 3 日

命題紙使用説明：1. 試題將用原件印製，敬請使用黑色墨水正楷書寫或打字（紅色不能製版請勿使用）。

2. 書寫時請勿超出格外，以免印製不清。

3. 試題由郵寄遞者請以掛號寄出，以免遺失而示慎重。

考 試 科 目	日本文學	所 別	日文系 いし	考 試 時 間	3 月 16 日 星期日	第 三 / 四 節
---------	------	-----	-----------	---------	-----------------	-----------

るのであった。後者に属する人は、強烈な消耗と同時に新生の可能の故に、自分を包括する。更にひろい人間は、群を忘れることが出来ない。例え、それに対して自分は無力であろうとも忘れることは出来ない。

朝子は、考え考え珈琲を含んだが、不図、一杯の珈琲をも、自分達は事実にて夥しい足音と共に飲んでいるのだと感じ、背筋を走る一種の感に打たれた。〉(『一本の花』九)

(3) 問い：

①沢部和子は『百合子、ダスヴィダーニヤ』で、百合子の戦後の作品には、「自然」という言葉が頻繁に使われているという重要な指摘をし、分析している。〈百合子が「自然な男」を愛するとき、それはペニスをもつ「男」にしか、力強さや厳しさといった、人間ならだれでも持つはずの性質を認めないことを意味する。その「男」と、か弱く甘える「女」の記号は彼女の中で対となる〉。この作品においては、朝子の言う「半開であった女性の花」、及び「自然」という言葉の内面の意味を吟味し、その官能的願望への肯定的な姿勢のあり方を指摘しなさい。(8%)

②官能の開花による精神と肉体の自己分裂に悩まされた朝子が見出した出口は作品の終末部において暗示されるものであった。「群れ」とか「群集」という言葉は、そのまま宮本百合子の他者との連帯、社会的指向性をどのような意味として持たせているのか、テキストの言葉を吟味し、検討しなさい。(7%)

2. 【課題：芥川龍之介「藪の中」の語り手たち】(30%)

(1) 「藪の中」(1922年12月) 粗筋

藪の中で一人の男が殺されてしまった。彼の死をめぐって関係者の四人——木樵、旅法師、放免、嫗の証言と、当事者三人の陳述——多襄丸の白状、清水寺から来た真砂の懺悔、巫女の口を借りたる死霊金沢武弘の物語である。それぞれの証言が説得力はあるが、見事に食い違っており、結局どれが真相なのか、誰が犯人だったのかは全て謎である。

(2) 本文引用

【多襄丸の白状】

あの男を殺したのはわたしです。しかし女は殺しはしません。ではどこへ行ったのか？ それはわたしにもわからないのです。まあ、お待ちなさい。いくら拷問にかけられても、知らない事は申されますまい。その上わたしもこうなれば、卑怯な隠し立てはしないつもりです。

わたしは昨日の午少し過ぎ、あの夫婦に出会いました。その時風の吹いた拍子に、牟子の垂絹が上ったものですから、ちらりと女の顔が見えたのです。ちらりと、——見えたと思う瞬間には、もう見えなくなったのですが、一つにはそのためもあったのでしょう、わたしにはあの女の顔が、女菩薩のように見えたのです。わたしはその咄嗟の間に、たとい男は殺しても、女は奪おうと決心しました。

何、男を殺すなぞは、あなた方の思っているように、大した事ではありません。どうせ女を奪うとなれば、必ず、男は殺されるのです。ただわたしは殺す時に、腰の太刀を使うのですが、あなた方は太刀は使わない、た

備	考 試 題 隨 卷 繳 交	
命 題 委 員：	( 簽 章 )	97 年 3 月 3 日

命題紙使用説明：1. 試題將用原件印製，敬請使用黑色墨水正楷書寫或打字（紅色不能製版請勿使用）。

2. 書寫時請勿超出格外，以免印製不清。

3. 試題由郵寄遞者請以掛號寄出，以免遺失而示慎重。



## 國立政治大學 九十七學年度 碩士班暨碩士在職專班招生考試 命題紙

第 3 頁，共 7 頁

考 試 科 目	日本文學	所 別	日文系 6141	考 試 時 間	3 月 16 日 星期日	第 三 / 四 節
---------	------	-----	-------------	---------	-----------------	-----------

だ権力で殺す、金で殺す、どうかするとおためごかしの言葉だけでも殺すでしょう。なるほど血は流れない、男は立派に生きている、——しかしそれでも殺したのです。罪の深さを考えて見れば、あなた方が悪い、わたしが悪い、どちらが悪いかわかりません。(皮肉なる微笑)(略)

男の命は取らずとも、——そうです。わたしはその上にも、男を殺すつもりはなかったのです。所が泣き伏した女を後に、藪の外へ逃げようとする、女は突然わたしの腕へ、氣遣いのように縋りつきました。しかも切れ切れに叫ぶのを聞けば、あなたが死ぬか夫が死ぬか、どちらか一人死んでくれ、二人の男に恥を見せるのは、死ぬよりもつらいと云うのです。いや、その内どちらにしろ、生き残った男につれ添いたい、——そうも喘ぎ喘ぎ云うのです。わたしはその時猛然と、男を殺したい気になりました。(陰鬱なる興奮)

こんな事を申し上げると、きっとわたしはあなた方より残酷な人間に見えるでしょう。しかしそれはあなた方が、あの女の顔を見ないからです。殊にその一瞬間の、燃えるような瞳を見ないからです。わたしは女と眼を合せた時、たとい神鳴に打ち殺されても、この女を妻にしたいと思いました。妻にしたい、——わたしの念頭にあったのは、ただこう云う一事だけです。これはあなた方の思うように、卑しい色欲ではありません。もしその時色欲のほかに、何も望みがなかったとすれば、わたしは女を蹴倒しても、きっと逃げてしまったでしょう。男もそうすればわたしの太刀に、血を塗る事にはならなかったのです。が、薄暗い藪の中に、じっと女の顔を見た刹那、わたしは男を殺さない限り、ここは去るまいと覚悟しました。(略)

## 【清水寺に来れる女の懺悔】

——その紺の水干を着た男は、わたしを手ごめにしてしまうと、縛られた夫を眺めながら、嘲るように笑いました。夫はどんなに無念だったでしょう。が、いくら身悶えをしても、体中にかかった縄目は、一層ひしひしと食い入るだけです。わたしは思わず夫の側へ、転ぶように走り寄りしました。いえ、走り寄ろうとしたのです。しかし男は咄嗟の間に、わたしをそこへ蹴倒しました。ちょうどその途端です。わたしは夫の眼の中に、何とも云いようのない輝きが、宿っているのを覚りました。何とも云いようのない、——わたしはあの眼を思い出すと、今でも身震いが出ずにはられません。口さえ一言も利けない夫は、その刹那の眼の中に、一切の心を伝えたのです。しかしそこに閃いていたのは、怒りでもなければ悲しみでもない、——ただわたしを蔑んだ、冷たい光だったではありませんか？ わたしは男に蹴られたよりも、その眼の色に打たれたように、我知らず何か叫んだぎり、とうとう気を失ってしまいました。

その内にやっと気がついて見ると、あの紺の水干の男は、もうどこかへ行っていました。跡にはただ杉の根がたに、夫が縛られているだけです。わたしは竹の落葉の上に、やっと体を起したなり、夫の顔を見守りました。が、夫の眼の色は、少しもさつきと変わりません。やはり冷たい蔑みの底に、憎しみの色を見せているのです。恥しさ、悲しさ、腹立たしさ、——その時のわたしの心の中は、何と云えば好いかわかりません。わたしはよろよろ立ち上りながら、夫の側へ近寄りしました。

「あなた。もうこうなった上は、あなたと御一しょには居られません。わたしは一思いに死ぬ覚悟です。しかし、——しかしあなたもお死になすって下さい。あなたはわたしの恥を御覧になりました。わたしはこのままあなた一人、お残し申す訳には参りません。」

わたしは一生懸命に、これだけの事を云いました。それでも夫は忌わしように、わたしを見つめているばかり

備	考 試 題 隨 卷 繳 交
---	---------------

命 題 委 員 :

(簽章) 97 年 3 月 3 日

命題紙使用說明：1. 試題將用原件印製，敬請使用黑色墨水正楷書寫或打字（紅色不能製版請勿使用）。

2. 書寫時請勿超出格外，以免印製不清。

3. 試題由郵寄遞者請以掛號寄出，以免遺失而示慎重。

考 試 科 目	日本文學	所 別	日文系 6141	考 試 時 間	3 月 16 日 星期日	第 三 / 四 節
---------	------	-----	-------------	---------	-----------------	-----------

なのです。わたしは裂けそうな胸を抑えながら、夫の太刀を探しました。が、あの盗人に奪われたのでしょ  
う、太刀は勿論弓矢さえも、藪の中には見当りません。しかし幸い小刀だけは、わたしの足もとに落ちてい  
るのです。わたしはその小刀を振り上げると、もう一度夫にこう云いました。

「ではお命を頂かせて下さい。わたしもすぐにお供します。」

夫はこの言葉を聞いた時、やっと唇を動かしました。勿論口には笹の落葉が、一ぱいにつまっていますか  
ら、声は少しも聞えません。が、わたしはそれを見ると、たちまちその言葉を覚りました。夫はわたしを蔑  
んだまま、「殺せ。」と一言云ったのです。わたしはほとんど、夢うつつの内に、夫の縹の水干の胸へ、ずぶりと  
小刀を刺し通しました。

わたしはまたこの時も、気を失ってしまったのでしょうか。やっとあたりを見まわした時には、夫はもう縛  
られたまま、とうに息が絶えていました。その蒼ざめた顔の上には、竹に交った杉むらの空から、西日が一  
すじ落ちているのです。わたしは泣き声を吞みながら、死骸の縄を解き捨てました。そうして、——そうし  
てわたしがどうなったか？ それだけはもうわたしには、申し上げる力もありません。とにかくわたしはどうしても、死  
に切る力がなかったのです。小刀を喉に突き立てたり、山の裾の池へ身を投げたり、いろいろな事もして見まし  
たが、死に切れずにこうしている限り、これも自慢にはなりません。(寂しき微笑)わたしのようには腑甲斐なもの  
は、大慈大悲の観世音菩薩も、お見放しなすったものかも知れません。しかし夫を殺したわたしは、盗人の  
手ごめに遇ったわたしは、一体どうすれば好いのでしょうか？ 一体わたしは、——わたしは、——(突然烈し  
き歎歎)

#### 【巫女の口を借りたる死霊の物語】

——盗人は妻を手ごめにすると、そこへ腰を下したまま、いろいろ妻を慰め出した。おれは勿論口は利け  
ない。体も杉の根に縛られている。が、おれはその間に、何度も妻へ目くばせをした。この男の云う事を真  
に受けるな、何を云っても嘘と思え、——おれはそんな意味を伝えたいと思った。しかし妻は悄然と笹の落  
葉に坐ったなり、じっと膝へ目をやっている。それがどうも盗人の言葉に、聞き入っているように見えるで  
はないか？ おれは妬しさに身悶えをした。が、盗人はそれからそれへと、巧妙に話を進めている。一度でも肌  
身を汚したとなれば、夫との仲も折り合うまい。そんな夫に連れ添っているより、自分の妻になる気はないか？ 自  
分はいといいと思えばこそ、大それた真似も働いたのだ、——盗人はとうとう大胆にも、そう云う話さえ持ち出した。

盗人にこう云われると、妻はうつりと顔を擡げた。おれはまだあの時ほど、美しい妻を見た事がない。しかしその  
美しい妻は、現在縛られたおれを前に、何と盗人に返事をしたか？ おれは中有に迷っていても、妻の返事を思い  
出すごとに、嗔恚に燃えなかったためしはない。妻は確かにこう云った、——「ではどこへでもつれて行って下さ  
い。」(長き沈黙)

妻の罪はそれだけではない。それだけならばこの闇の中に、いまほどおれも苦しみはしまい。しかし妻は夢  
のように、盗人に手をとられながら、藪の外へ行こうとすると、たちまち顔色を失ったなり、杉の根のおれ  
を指さした。「あの人を殺して下さい。わたしはあの人が生きていては、あなたと一しょにはいられません。」——妻  
は気が狂ったように、何度もこう叫び立てた。「あの人を殺して下さい。」——この言葉は嵐のように、今でも遠  
い闇の底へ、まっ逆様におれを吹き落そうとする。一度でもこのくらい憎むべき言葉が、人間の口を出した事

備	考 試 題 隨 卷 繳 交
命 題 委 員 :	( 簽 章 ) 97 年 3 月 3 日

命題紙使用説明：1. 試題將用原件印製，敬請使用黑色墨水正楷書寫或打字（紅色不能製版請勿使用）。

2. 書寫時請勿超出格外，以免印製不清。

3. 試題由郵寄遞者請以掛號寄出，以免遺失而示慎重。



## 國立政治大學 九十七學年度 碩士班暨碩士在職專班招生考試 命題紙

第 5 頁，共 7 頁

考 試 科 目	日本文學	所 別	日文系 b141	考 試 時 間	3 月 16 日 星期日	第 三 / 四 節
---------	------	-----	-------------	---------	-----------------	-----------

があらうか？ 一度でもこのくらい呪わしい言葉が、人間の耳に触れた事があるらうか？ 一度でもこのくらい、——(突然進むとき嘲笑)その言葉を聞いた時は、盗人さえ色を失ってしまった。「あの人を殺して下さい。」——妻はそう叫びながら、盗人の腕に縋っている。盗人はじっと妻を見たまま、殺すとも殺さぬとも返事をしない。——と思うか思わない内に、妻は竹の落葉の上へ、ただ一蹴りに蹴倒された、(再び進むとき嘲笑)盗人は静かに両腕を組むと、おれの姿へ眼をやった。「あの女はどうするつもりだ？ 殺すか、それとも助けてやるか？ 返事はただ頷けば好い。殺すか？」——おれはこの言葉だけでも、盗人の罪は赦してやりたい。(再び、長き沈黙)

妻はおれがためらう内に、何か一声叫ぶが早いか、たちまち藪の奥へ走り出した。盗人も咄嗟に飛びかかったが、これは袖さえ捉えなかったらしい。おれはただ幻のように、そう云う景色を眺めていた。

盗人は妻が逃げ去った後、太刀や弓矢を取り上げると、一箇所だけおれの縄を切った。「今度はおれの身の上だ。」——おれは盗人が藪の外へ、姿を隠してしまう時に、こう呟いたのを覚えている。その跡はどこも静かだった。いや、まだ誰かの泣く声がする。おれは縄を解きながら、じっと耳を澄ませて見た。が、その声も気がついて見れば、おれ自身の泣いている声だったではないか？ (三度、長き沈黙)

おれはやっと杉の根から、疲れ果てた体を起した。おれの前には妻が落した、小刀が一つ光っている。おれはそれを手にとると、一突きにおれの胸へ刺した。何か腥い塊がおれの口へこみ上げて来る。が、苦しみは少しもない。ただ胸が冷たくなると、一層あたりがしんとしてしまった。ああ、何と云う静かさだろう。

## (3) 問い：

この作品の構成と言うと、とても特異な性質を持っている。芥川自身が直接読者に向かって物語を語るのではなく、設定された語り手が、その語り手の固有の場において、物語を語っていくのである。当事者三人の語り手は、いずれもが自分の利害や感情にのみ見入っている。ありのままに相手を見、相手の感情や苦しみを理解しようとする意志は、誰にもない。以下の三つの問題に答えなさい。

- ① 盗人の多襄丸、女の真砂、死霊の金沢武弘、それぞれ三人の言い分として男の死の真相をどのように語っているのか、纏めなさい。(10%)
- ② ここの三人の語り手の語りがどういうふうにエゴイスティックで思いやりや優しさが欠如しているのか、検討しなさい。(12%)
- ③ 作者の芥川がこうした設定された語り手をどのように操りながら、作者なりの裁断をしているのか、背後の作者の真意を把握し、分析しなさい。(8%)

備	考 試 題 隨 卷 繳 交
---	---------------

命 題 委 員：

( 簽 章 ) 97 年 3 月 3 日

命題紙使用説明：1. 試題將用原件印製，敬請使用黑色墨水正楷書寫或打字（紅色不能製版請勿使用）。

2. 書寫時請勿超出格外，以免印製不清。

3. 試題由郵寄遞者請以掛號寄出，以免遺失而示慎重。

考試科目	日本文學	所別	日本語文學系	考試時間	3月16日 星期日 第3,4節
------	------	----	--------	------	-----------------

三、次に挙げた各文はどの作品、どの作者を対象としたものか、後の語群から最適な答えを選んで、符号で記しなさい。(14%)

- ( ) 仏教の因果関係の教えを説いている日本最古の説話集。
- ( ) 紀貫之とともに六歌仙の一人として活躍していた歌人。
- ( ) 日本最初の勅撰漢詩集。
- ( ) 仏教説話と世俗説話を集大成した作品。
- ( ) 自照性に富み、『源氏物語』に大きな影響を与えた作品。
- ( ) 長歌の完成者といわれる歌人。
- ( ) 本歌取りという技法を多く用いた歌集。
- ( ) 漢文で書かれた日本最古の歌論書。
- ( ) 藤原道長を頂点とする藤原氏の栄華を紀伝体で書いた歴史物語。
- ( ) 女性心理を精細克明に描いた作り物語。
- ( ) 儒教的論理、武士道、勤皇の精神の賞賛がみられ、政道・世相批判も行われ、文章は対句を多用した和漢混交文で書かれた作品。
- ( ) 中国の小説『水滸伝』を翻案し、儒教的な勧善懲悪思想で貫かれている作品。
- ( ) 『膝栗毛初編』で人気を博した黄表紙・洒落本の作者。
- ( ) 『冠詞考』『祝詞考』などを著して国学を体系化し、発展させた国学者。

あ、菅家文草	い、菅家後集	う、経国集	え、懷風藻	お、歌経標式
か、凌雲集	き、文鏡秘府論	く、今昔物語集	け、日本霊異記	こ、古本説話集
さ、古語拾遺	し、蜻蛉日記	す、更級日記	せ、土佐日記	そ、大鏡
た、栄花物語	ち、増鏡	つ、万葉集	て、古今和歌集	と、新古今和歌集
な、夜半の寝覚	に、狭衣物語	ぬ、堤中納言物語	ね、落窪物語	の、義経記
は、保元物語	ひ、平家物語	ふ、太平記	へ、雨月物語	ほ、椿説弓張月
ま、古今奇談英草紙	み、南総里見八犬伝	む、十返舎一九	め、式亭三馬	も、風来山人
や、柳亭種彦	ゆ、契沖	よ、荷田春満	ら、賀茂真淵	り、本居宣長
る、紀友則	れ、凡河内躬恒	ろ、大友黒主	わ、大伴家持	を、柿本人麻呂
ん、高橋虫麻呂				

備考	試題隨卷繳交
命題委員：	(簽章) 97年 3月 7日

命題紙使用説明：1. 試題將用原件印製，敬請使用黑色墨水正楷書寫或打字（紅色不能製版請勿使用）。  
 2. 書寫時請勿超出格外，以免印製不清。  
 3. 試題由郵寄遞者請以掛號寄出，以免遺失而示慎重。

考試科目	日本文學	所別	日本語文學系 <sup>い</sup>	考試時間	3月16日 星期日	第3.4節
------	------	----	---------------------	------	--------------	-------

四、次の言葉を日本語で解釈説明してみよう。(8%)

①掛詞      ②ますらをぶり      ③有心      ④粹

五、次の原典を現代語訳してみよう。(18%)

1、やまとうたは、人の心を種として、万の言の葉とぞなれりける。世の中にある人、ことわざ繁きものなれば、心に思ふことを、見るもの聞くものにつけて、言ひ出だせるなり。花に鳴く鶯、水に住む蛙の声を聞けば、生きとし生けるもの、いずれか歌をよまざりける。力をも入れずして天地を動かし、目に見えぬ鬼神をもあはれと思はせ、男女の中をも和らげ、猛き武士の心をも慰むるは歌なり。(『古今和歌集』仮名序) (6%)

2、これより、夕さりつかた、「内裏のがるまじかりけり」とて出づるに、心得で、人をつけて見すれば、「町の小路なるそこそこになむ、とまり給ひぬる」とて来たり。さればよと、いみじう心憂しと思へども、いはむやうも知らであるほどに、二三日ばかりありて、曉方に門をたたく時あり。さなめりと思ふに、憂くて開けさせねば、例の家とおぼしき所にもものしたり。つとめて、なほもあらじと思ひて、「嘆きつつひとり寝る夜のあくるまはいかに久しきものとかは知る」と、例よりはひきつくろひて書きて、うつろひたる菊に差したり。(『蜻蛉日記』町の小路の女) (6%)

3、香具山は畝火を愛しと耳梨と相あらそひき神代よりかくにあるらし古も然にあれこそうつせみも妻をあらそふらしき (『万葉集』、天智天皇) (2%)

4、とにもかくにも、そらごと多き世なり。ただ、常にある、めづらしからぬ事のままだに心得たらん、よろづ違ふべからず。(『徒然草』第七十三段) (2%)

5、月日は百代の過客にして、行かふ年も又旅人なり。舟の上に生涯を浮かべ、馬の口とらへて老をむかふる物は、日々旅にして旅をすみかとする。(『奥の細道』冒頭) (2%)

備考	試題隨卷繳交
命題委員：	(簽章) 97年3月7日

命題紙使用説明：1. 試題將用原件印製，敬請使用黑色墨水正楷書寫或打字（紅色不能製版請勿使用）。  
2. 書寫時請勿超出格外，以免印製不清。  
3. 試題由郵寄遞者請以掛號寄出，以免遺失而示慎重。



國立政治大學九十七學年度研究所<sup>博</sup>士班入學考試命題紙 第 1 頁，共 3 頁

考試科目	日本歷史	所別	日文系 6142	考試時間	3月16日 星期日 第3節
<p>一、日本外交は、なぜワシントン体制に参入したのかを、約四百字で説明してください。20%</p> <p>二、次の名詞を説明してください 20%</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 脱亜入欧</li> <li>2. 大正デモクラシー</li> <li>3. 政教分離</li> <li>4. 日本国憲法</li> </ol>					
備考	試題隨卷繳交				
命題委員：				(簽章) 97年 3月 6日	

命題紙使用說明：1. 試題將用原件印製，敬請使用黑色墨水正楷書寫或打字（紅色不能製版請勿使用）。  
 2. 書寫時請勿超出格外，以免印製不清。  
 3. 試題由郵寄遞者請以掛號寄出，以免遺失而示慎重。



考試科目	日本歴史	所別	日文系 b142	考試時間	3月16日 星期日	第3節
<p>た。しかし、源頼朝の血統は3代実朝の死で絶えた。その後、天皇の皇子や摂関家から征夷大將軍を迎えて存続を図った。しかし、源頼朝の妻の実家である北条家が代々に互って(②)という役職を独占し実権を握るようになった。やがて、北条氏嫡流の当主である(③)や北条氏の家来である御内人が内管領となって専制的な政治を行うようになって御家人と対立するようになっていった。</p> <p>また、1274年、1281年の2度にわたる外国からの侵略=(④)とその後の北九州警備の負担などから中小の御家人は貧窮化・没落するものが続出した。これに対して、鎌倉幕府は(⑤)という法律を出し、御家人の債務の取り消しを図ったが、逆に御家人の金融の道を塞ぐ結果になり、御家人たちの幕府政治への不満が高まった。このような状況の中で1318年に即位した(⑥)は朝廷の権力回復へ強い意欲を持つようになった。1331年に彼は挙兵して倒幕を図ったが失敗し、隠岐に流された。彼は1333年に隠岐を脱出し、畿内の悪党である(⑦)等の幕府軍との抗戦や有力御家人の幕府への反逆などで、ついに1333年に鎌倉幕府は滅亡し、建武の新政という朝廷の権力回復が実現した。しかし、不満を持つ武士たちを結束させた(⑧)が反乱を起こし、僅か2年でこの新政は失敗し、南北朝の混乱期が始まった。</p> <p>① ア、地頭 イ、荘官 ウ、在地領主 エ、名主 ② ア、検非違使 イ、蔵人 ウ、執権 エ、大老 ③ ア、公方 イ、管領 ウ、本所 エ、得宗 ④ ア、刀伊の入寇 イ、元寇 ウ、倭寇 エ、慶長の役 ⑤ ア、永仁の徳政令 イ、嘉吉の徳政令 ウ、不輸不入令 エ、雑訴決断令 ⑥ ア、後白河天皇 イ、後鳥羽天皇 ウ、後醍醐天皇 エ、後陽成天皇 ⑦ ア、新田義貞 イ、足利尊氏 ウ、名和長年 エ、楠正成 ⑧ ア、新田義貞 イ、足利尊氏 ウ、名和長年 エ、楠正成</p> <p>五、豊臣秀吉の全国統一について、次の3つの用語を用いて600字程度で論じなさい。 検地 刀狩 九州征伐 15分</p>						
備考	試題隨卷繳交					
命題委員：	(簽章) 97年 3月 6日					

命題紙使用説明：1. 試題將用原件印製，敬請使用黑色墨水正楷書寫或打字（紅色不能製版請勿使用）。

2. 書寫時請勿超出格外，以免印製不清。

3. 試題由郵寄遞者請以掛號寄出，以免遺失而示慎重。

考試科目	日本歷史	所別	日文系	考試時間	3 月 16 日 第 3 節 星期 日
------	------	----	-----	------	------------------------

三、次の文章の（ ）の中に入る適切な語を選び、ア～エの記号で答えなさい。

各 3 分

645 年、蘇我入鹿の権力集中に危機感を募らせた（ ① ）と中臣鎌足はクーデターを執行し、蘇我本家を滅ぼし、天皇を頂点とする集権的国家体制確立を目指した。そして日本で初めて年号を制定し、一連の改革を行った。この改革を（ ② ）と言う。この時の詔で、従来の氏姓制に基づく豪族の人民支配を否定し、（ ③ ）を宣言し、律令国家の人民支配の原則を明確にした。

この改革は中国における統一国家の成立と、それに伴う朝鮮半島情勢の緊迫と言う外的要因に促されたものであった。660 年、朝鮮半島にあった（ ④ ）は中国の唐と連合し、百済を滅ぼした。百済の遺臣たちは日本に救援を要請した。日本は百済救援に大軍を派遣したが、663 年に（ ⑤ ）で大敗し、朝鮮半島における日本の利権は完全に失われることとなった。これ以後、奈良時代まで、日本にいた百済の王族と遺臣たちは日本において亡命政権を作って失地回復を図り、日本の外交の基本方針は百済復旧となった。しかし、当面は国内の集権体制の確立と九州防衛を急ぐことになった。関東地方を中心とした東国から九州に派遣され防衛を担った兵士たちを（ ⑥ ）と言う。また、667 年に都を内陸の大津宮に移し、日本最初の令（ ⑦ ）を制定し、670 年には庚午年籍という全国規模での戸籍を作り、律令国家の確立を急いだ。

- ① ア、厩戸皇子 イ、山背大兄皇子 ウ、中大兄皇子 エ、大海人皇子
- ② ア、享保の改革 イ、大化の改新 ウ、正徳の治 エ、延喜・天暦の治
- ③ ア、部民制 イ、農奴制 ウ、公地公民制 エ、一地一作人制
- ④ ア、高句麗 イ、新羅 ウ、渤海 エ、高麗
- ⑤ ア、白村江の戦い イ、息長横河の戦い ウ、壇ノ浦の戦い  
エ、関が原の戦い
- ⑥ ア、守護 イ、健児 ウ、エ、防人
- ⑦ ア、養老律令 イ、飛鳥清御原令 ウ、大宝律令 エ、近江令

四、次の文章の（ ）の中に入る適切な語を選び、ア～エの記号で答えなさい。

各 3 分

鎌倉幕府は、征夷大將軍が東国の武士を中心とした御家人を主従関係に基づいて結束させ、彼らを全国に守護・（ ① ）として配置することで支配を確立し

備 考	試 題 隨 卷 繳 交
-----	-------------

命 題 委 員 : ( 簽 章 ) 97 年 3 月 6 日

題紙使用説明：1. 試題將用原件印製，敬請使用黑色墨水正楷書寫或打字（紅色不能製版請勿使用）。  
2. 書寫時請勿超出格外，以免印製不清。  
3. 試題由郵寄遞者請以掛號寄出，以免遺失而示慎重。

國立政治大學九十七學年度研究所<sup>博</sup>士班入學考試命題紙 第 1 頁，共 2 頁

考試科目	日語語言學	所別	日本語文學系	考試時間	3月/6日 星期日 第3/4節
------	-------	----	--------	------	-----------------

一、コ、ソ、アの直示用法について、できるだけ詳しく説明してください。(10%)

二、「日本語は文法が難しい。」と「日本語の文法は難しい。」の二文について、

①この二文の意味の違いを説明し、②それぞれの文の「は」と「が」の機能について説明してください。(10%)

三、次の文のタについて、a. 過去、b. 結果存続、c. モダリティ、のいずれであるか、記号を書いてください。(10%)

例：第二次世界大戦は、1945年に終結した。( a )

①あの眼鏡をかけた人が山田さんです。( )

②よく冷えたビールが飲みたい。( )

③さあ、そこをどいた、どいた。( )

④彼はきのうは3時ごろ帰った。( )

⑤私は2年前に卒業した。( )

⑥そうだ、きょうは妻の誕生日だった。( )

⑦また今年も正月が来た。( )

⑧彼は眼鏡をかけたが、度が合わないといってすぐはずした。( )

⑨先の尖った鉛筆を貸してください。( )

⑩「山田さんはいますか。」「いいえ、もう帰りましたよ。」( )

四、「吐く息も凍るほど寒さの中で汗をかきながら走っている。」この文には誤りがあります。

①誤りの部分を訂正し、②元の文と訂正文の意味の違いを述べ、③なぜ②のような意味の違いが出てくるかの理由を構文的に説明してください。(15%)

五. 小論文 (400~600 字程度)：テーマ「日本語学研究的社会的意義」(15%)

備考	試題隨卷繳交
命題委員：	97年 3月 7日

命題紙使用説明：1. 試題將用原件印製，敬請使用黑色墨水正楷書寫或打字（紅色不能製版請勿使用）。  
2. 書寫時請勿超出格外，以免印製不清。  
3. 試題由郵寄遞者請以掛號寄出，以免遺失而示慎重。



國立政治大學九十七 學年度研究所<sup>博</sup>士班入學考試命題紙 第 2 頁，共 2 頁

考試科目	日語語言學	所別	日本語文學系、643	考試時間	3月16日 星期日 第3、4節
------	-------	----	------------	------	-----------------

六、次の用語の意味を日本語で説明しなさい。(40%)

- 1、音素と音声
- 2、母音の無声化
- 3、アクセントとイントネーション
- 4、条件異音と自由異音
- 5、音節と拍
- 6、単純語と合成語
- 7、語彙の位相
- 8、現代仮名遣いと歴史的仮名遣い

備考	試題隨卷繳交
命題委員：	(簽章) 97年3月7日

命題紙使用說明：1. 試題將用原件印製，敬請使用黑色墨水正楷書寫或打字（紅色不能製版請勿使用）。  
 2. 書寫時請勿超出格外，以免印製不清。  
 3. 試題由郵寄遞者請以掛號寄出，以免遺失而示慎重。